



『美術情報を調べる』

凡例

- ・所蔵状況は2023年8月現在です。
- ・所蔵館略称 京：京橋図書館 日：日本橋図書館 月：月島図書館
- ・図書タイトルの下の情報は、(出版社/出版年/所蔵館略称名/請求記号)を表します。
- ・毎年出版される本や、各館で所蔵の版が異なるものは、出版年の表記をしていません。
- ・参考図書など一部貸出できない資料があります。館内をご利用ください。

1. 手がかりとなる言葉

はじめに、自分が探している情報の手がかりとなる言葉を集めることが大切です。調べたい事柄から思い浮かぶ言葉をあげていきましょう。美術情報と言っても、「絵画」「美術史」「画家」「美術館」「彫刻」など、調べる対象はさまざまです。できるだけいろいろな角度から考えてみましょう。

(例) 美術史について調べたい。

水墨画 大和絵 浮世絵 琳派 狩野派 水彩画 パステル画 油絵 蒔絵 螺鈿 デッサン
工芸 彫刻 錦絵 銅版画 ポスター画 ルネサンス 印象派 アールデコ 美術館

自分が知りたい情報に関連した言葉を書き出してみましょう。

2. 参考図書から探す

図書館の本は日本十進分類法(NDC)に基づいて分野別に分類されています。1で考えた手がかりとなる言葉をもとに、検索機や参考図書などで調べていきます。

歴史・人物・事柄について調べるには

『日本美術図解事典』(東京美術 2011年 京：R7021/ニ 日・月：7021/ニ)

絵画・書・彫刻・陶磁・漆工などの鑑賞に役立つ知識を図版中心に解説。

『日本の20世紀芸術』(平凡社 2014年 京：R7021/ニ)

美術、版画、イラストレーション、写真、工芸、書など幅広いジャンルを年代別に解説。

『世界芸術家辞典』(エム・エフ・ジー 京：R7033/セ 日：R7033)

世界の芸術家を50音順に網羅。絵画、書、工芸、彫刻、現代アートなど。

『世界美術家大全』(日東書院本社 2015年 京：R7028/カ)

古代から現代までの美術を年代別に区切り、作家や代表的作品を紹介。

『和英対照日本美術用語辞典』(東京美術 京：R7033/ワ 月：R7033/ニ)

日本美術を理解する上で必要な専門用語4,300項目を収録。和文・英文併記で構成。

『日本美術史年表』(京：R7021/ミ 日：R7021)

日本美術史研究の第一人者である源豊宗による日本史年表。

『日本仏像事典』(吉川弘文館 2004年 京：R718/ニ 日：R7180)

仏像の多種多様な姿をわかりやすく紹介。如来・菩薩・明王などの種類別に百尊を収録し、各像の歴史上の由来や特徴、各部の名称やポーズをイラストで解説。

『人物レファレンス事典 美術篇』(日外アソシエーツ 2010年 京・月：R2810/シ 日：R2810)

国内で刊行された人物事典、歴史事典、百科事典などに掲載された美術家の総索引。



『西洋人物レファレンス事典 美術篇』(日外アソシエーツ 2012年 京・月：R2830/セ)

国内で刊行された人物事典、美術事典などに掲載された西洋美術家の総索引。

『東洋人物レファレンス事典 美術・音楽・芸能篇』(日外アソシエーツ 2015年 京：R2820/ト)

国内で刊行された人物事典、百科事典などに掲載された東洋の美術・音楽・芸能分野の人物総索引。

『日本近現代美術史事典』(東京書籍 2007年 月：R7021/ニ)

江戸後期から現在までの日本美術を網羅。歴史、事項・テーマ、用語、資料に分けて解説。

『人間国宝事典 工芸技術編』(芸艸堂 京・月：R7091/ニ)

工芸技術部門で人間国宝に認定された保持者の技術詳細、経歴と作風や代表作を解説。

『日本書画落款大事典』(上・下巻)(遊子館 2007年 月：R7287/ニ)

中世から昭和期の書画家1,450人、約14,400の使用落款を収録。書画家の人物情報の解説文あり。

作品を探すには

『日本美術作品レファレンス事典 [第1期] ~第3期 絵画篇』

(日外アソシエーツ 京：R7021/ニ 日・月：R7021)

作品名から、その図版がどの全集に収録されているか検索できる。

『美術作品レファレンス事典 人物・肖像篇』

(日外アソシエーツ 2007~2017年 月：R7031/ヒ)

主要な美術全集に掲載されている人物画、肖像画、人物彫刻をモデルとなった人物の名前から検索できる索引事典。

『西洋美術全集絵画索引』(日本図書館協会 1999年 京：R7230/セ)

東京都立中央図書館が所蔵する西洋美術全集51種に収録された絵画作品の収録全集名などの情報を、画家名、タイトルから検索できる。

『西洋絵画作品名辞典』(三省堂 1994年 日：R7233 月：R7233/セ)

ルネサンス期から現代までの画家630人、作品30,000点余を収録。画家は50音順、作品は主題別・制作年代順などで解説している。

『美術作品レファレンス事典 先史・古代美術』(日外アソシエーツ 2007年 月：R7031/ヒ)

世界と日本の先史及び古代美術作品の図版を、46種259冊の美術全集から索引できる事典。

『国宝事典』(便利堂 2019年 京・日・月：R7091/コ)

平成30年11月1日現在、国宝に指定されている美術工芸品、建造物1,115件を解説。

動向を調べるには

『美術年鑑』(美術年鑑社 京：R705.9/ヒ 日：R7059/ヒ)

美術界各分野の作家名鑑、美術界の動向や訃報、また美術館や博物館、画廊等のデータも収録。

『最新美術・デザイン賞事典』(日外アソシエーツ 京：R7036/サ)

国内の美術・デザイン分野の賞や公募展・コンペティション等288賞を収録した事典。

『美術名典』(芸術新聞社 月：R7035/ヒ)

日本画、洋画、工芸、書などの分野別に作家データを収録。



3. 一般図書から探す

美術史・作品を調べるには

『図説名画の歴史』(河出書房新社 2019年 京・日:7230/ニ)

各時代の美術の要点と名画の意味、鑑賞と理解の要点などを豊富な図版とともに解説。

『日本美術全集』(全20巻+索引)(小学館 2012~2016年 京:7080/ニ) ※館内閲覧のみ

古墳時代の石器から現代美術まで、日本文化に精通する専門家による解説とともに紹介。

『いちばん親切的な西洋美術史』(新星出版社 2016年 京・日・月:7023/イ)

古代エジプト、ギリシャからルネサンス、印象派、現代美術まで、名作とともにたどる。

『東洋美術史』(美術出版社 2012年 京・日:7022/ト)

西アジア、南アジア、東南アジア、東アジアの美術を先史から近代に至るまで詳しく解説。

『現代美術史』(中央公論社 2019年 京:S702/ヤ 日:7020/ヤ)

現代美術を第二次世界大戦後の社会との関わりから解説・意義づける、現代アートの入門書。

『47都道府県・国宝/重要文化財百科』(丸善出版 2018年 京・日・月:7091/モ)

都道府県別の国宝及び重要文化財の基礎知識が網羅された本。美術品名・建造物名索引もある。

『はじめての日本美術史』(山川出版社 2018年 日・月:7021/ヤ)

飛鳥時代から現代までの日本美術の中から45作品を取り上げた入門書。

『1冊でわかる美術史のきほん』(秀学社 2019年 日・月:7020/イ)

日本と西洋の美術史を時代ごとに図版とわかりやすい文章で解説。

『西洋絵画のみかた』(成美堂出版 2019年 日・月:7230/セ)

歴史と作品を豊富な図版と明快な文章で解説した西洋絵画の入門書。



『図説イタリア・ルネサンス美術史』(河出書房新社 2015年 京・日・月:7023/マ)

フェレンツェ絵画から、カラヴァッジョまで、各時代を代表する55点の作品を簡潔に解説する。

美術館に行くには

『建築でめぐる日本の美術館』(G.B. 2020年 京:706.9/ト 日:5267/ト 月:7069/ト)

建築もアートとして鑑賞できる名建築美術館90館をオールカラーで紹介。

『作家別あの名画に会える美術館ガイド 江戸絵画篇』(講談社 2017年 京・日:7204/カ)

作家名からその作家の作品を所蔵する美術館を探せるガイド。江戸絵画の流れもわかる。

『企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり』(G.B. 2018年 京・月:7069/ウ)

日本の美術館102館を、各館の常設展で見ることができる代表作品とともに紹介。

『NHK世界美術館紀行』(全10巻)(日本放送出版協会 2005年 京・日・月:7069/エ)

世界的に有名な美術館に所蔵する名画や作家にまつわる物語を紹介。

『東京美術館案内』(昭文社 2017年 京・日・月:7069/ト)

個性豊かな東京&東京近郊の美術館やミュージアムをエリア別に案内。アートめぐりに最適な一冊。

『美術館へ行こう』(新潮社 2018年 京・日・月:7069/イ)

北海道から鹿児島まで居心地のよい24の美術館を案内。展示を観た後にひと息つけるカフェも紹介。

『日本の美術館で見た世界の名画と日本の名品100』(ぴあ 2019年 日・月:7204/ニ)

日本の美術館で見られる名画と名品を豊富な図版で100点紹介。

『東京ミュージアムガイド』(朝日新聞出版 2020年 京・日・月:7069/ト)

東京都内にある有名美術館からアートギャラリーまで約100軒を紹介。

※検索機で特定の本を探すだけではなく、実際に関連図書がある棚に足を運び、手にとって見ることは、書名や検索機の情報だけではわからない図書を見つけることができ、大変有効です。

4. 新聞・雑誌記事から探す

◆中央区立図書館では、美術に関する次の雑誌を所蔵しています。

- ・『**芸術新潮**』(京・日・月：1年保存)
- ・『**月刊美術**』(京：3年保存)
- ・『**美術手帖**』(京・日：3年保存)
- ・『**ILLUSTRATION**』(京：3年保存)
- ・『**一枚の繪**』(月：1年保存)
- ・『**目の眼**』(京：3年保存)
- ・『**墨**』(月：1年保存)

※美術に関する雑誌以外にも、特集で取り上げていることがあります。検索機で特集名から検索することもできます。(月刊誌・一部週刊誌)

◆新聞縮刷版

京橋：朝日、読売、日経、毎日

日本橋：毎日

月島：朝日

5. インターネットから探す

図書や雑誌だけでは網羅できない新しい情報を探すときに有効です。

	タイトル／作成者	URL
1	国立美術館 所蔵作品総合目録検索システム／東京国立近代美術館	http://search.artmuseums.go.jp/
	5つの国立美術館（東京国立近代美術館、国立工芸館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館）で所蔵する作品の情報、作品の来歴、展覧会出品歴、参考文献などを公開。	
2	美術図書館横断検索	https://alc.opac.jp/
	美術図書館連絡会（ALC）加盟館の蔵書の横断検索が可能。	
3	ジャパンサーチ／国立国会図書館	https://jpsearch.go.jp/
	様々な分野のデジタルアーカイブと連携しており、多様なコンテンツの検索・閲覧・活用ができる。	

☆ご注意☆

ここでご紹介した資料はごく一部です。探している資料が見つからないなどご質問がございましたら、レファレンスカウンターにお尋ねください。ただし、資料に関する相談に限ります。